

ルビオウッドクリームソフナー

古材風の色の仕上がりやウッドクリーム塗装された木材表面の補修・再生に使用するメンテナンス製品

ウッドクリームソフナーは、ウッドクリームの色の強さを和らげる（濃さを薄くする）だけでなく、より透明感のある仕上がりや古材風の仕上がりを作り出すことができます。ウッドクリームソフナーは、ウッドクリームで処理を施した表面のメンテナンスに最適な製品です。



注意

ウッドクリームソフナーは必ずウッドクリームと一緒にご使用ください。ウッドクリームソフナーは単独ではお使いいただけません。

ウッドクリームソフナーを加えると、製品の耐紫外線性が低下し、早期に退色が起こる場合があります。この退色作用は、ウッドクリームソフナーの混合量によって異なります。

製品情報

▶ 独自の特徴

- VOC（揮発性有機化合物）含有率0%
- 濃度に変化はないが、着色力は低くなる
- 乾燥時間を延びる
- 高温条件下でも容易に作業可能（重ね塗りのリスクを低減）
- 粗く吸収力の高い基材でも容易に広げることが可能
- ウッドクリームを2回目の塗布した場合に層が厚くなることを防ぐ
- メンテナンス製品としても使用可能

▶ 技術的特徴

- 色：不透明
- 匂い：わずかなアンモニア臭
- 物理的状态：液体
- 比重：927g/L
- pH値：9.35
- 引火点：>100℃
- 発火点：>200℃
- 溶解度：水に溶ける

▶ 保管

本製品は最大24カ月まで保管することができます。乾燥条件下でご購入時の容器のまま保管してください。凍結する環境は避けて保管してください。

▶ 販売サイズ

100ml / 1L

塗装についての情報

▶ 現場での塗布

▶ 塗布環境

下記温度域内でお使いください。

- 大気温度：10℃～30℃
- 基板温度：10℃～30℃
- 塗布温度：10℃～30℃

▶ 塗装手順

▶ 手作業での塗布

A. 新品の木材を古材風に仕上げる場合

ステップ1. ご希望の仕上がりになるように下地処理を行います（カンナをかける、木工用サンドペーパーで磨く、ワイヤーブラシでこする等）。

ステップ2. 木材表面の木くずを除去するために、表面を細かい霧状の水で濡らします。水にエクステリアウッドクリーナーを10%の割合で混ぜて木材のクリーニングを行ってください。エクステリアウッドクリーナーのご使用後は、水で完全に洗い流してから本製品を塗布してください。詳細は、エクステリアウッドクリーナーのテクニカルデータシート（TDS）をご参照ください。

ステップ3. ウッドクリームをウッドクリームソフナーで希釈し、攪拌します。希釈する割合は9:1から最大で1:1まで調整が可能です。

ステップ3. 水をビーズ上にはじく製品に適した刷毛を用いて、これを垂直面に木材の方向に沿って丁寧かつ均等に塗布します。板材3～4枚の範囲内で、木材繊維の方向に沿って作業します。前に塗布した部分が乾く前に次の塗布を行ってください。刷毛を用いて本製品を一度で広げます。

B. ウッドクリームの補修／再生を行う場合

ステップ1. 低圧の水と柔らかいブラシを用いて表面のクリーニングを行います。木工用サンドペーパーでの研磨は不要です。

ステップ2. ウッドクリームとウッドクリームソフナーを9:1の割合で混ぜて希釈し、攪拌します。この割合は最大で1:1まで調整が可能です。

ステップ3. 刷毛を用いて、これを垂直面に木材の方向に沿って丁寧かつ均等に塗布します。板材3～4枚の範囲内で、木材繊維の方向に沿って作業します。前に塗布した部分が乾く前に次の塗布を行ってください。刷毛を用いて本製品を一度で広げます。

▶ メンテナンスについて

通常は、年に一度、冬季を過ぎた後に目視での点検をおすすめします。

以下の3点がないかご確認ください。

- 汚れや緑色の堆積物：低圧の水と柔らかいブラシで除去
- 色褪せ
- パール効果（水をビーズ状にはじく効果）の低下

必要に応じて（上記 b および c の場合）、下記の指示に従いメンテナンスとしての塗布を行ってください。メンテナンスの頻度は、気象条件によって異なります。

- 通常の気象条件の場合：5年ごと
- 過酷な気象条件の場合：3年ごと
- 理想的な環境の場合、この期間は最長10年と大きく延ばすことができます。

通常の気候：色褪せがある場合は、ウッドクリームとウッドクリームソフナーを9:1の割合で混ぜたものをメンテナンスとして塗布します。この割合はご希望の仕上がりになるよう最大で1:1の割合まで調整が可能です。詳細は、ウッドクリームのテクニカルデータシート（TDS）をご参照ください。

メンテナンスの頻度は、塗装された木材の暴露の度合い、地理的状況、太陽の向き、ならびに木材の種類やご希望の色調によって異なります。水辺や海沿い、降雪地帯、湿地帯ではより高い頻度でのメンテナンスが必要となる場合があります。

ステップ1. 水にエクステリアウッドクリーナーを10%の割合で混ぜたものを用いて木材のクリーニングを行います（詳細は、エクステリアウッドクリーナーのテクニカルデータシートをご参照ください）。エクステリアウッドクリーナーを使用してクリーニングを行った後は、低圧の水と柔らかいブラシで表面をきれいにしてください。木工用サンドペーパーでの研磨は不要です。

ステップ2. ウッドクリームをよく混ぜ、ウッドクリームとウッドクリームソフナーを9:1の割合で混ぜて希釈します。この割合はご希望の仕上がりになるよう最大で1:1の割合まで調整可能です。

ステップ3. 刷毛を用いて、これを垂直面に木材の方向に沿って丁寧かつ均等に塗布します。板材3〜4枚の範囲内で、木材繊維の方向に沿って作業します。前に塗布した部分が乾く前に次の塗布を行ってください。刷毛を用いて本製品を一度で広げます。

・使用上の注意

- 塗装の際は、木材表面に直射日光が当たらないように注意してください。
- 高温（30℃を超える）の場合や日陰がない場合は、製品が塗布しやすく、また時間をかけて乾くように、ウッドクリームをウッドクリームソフナーで希釈することを推奨します。
- 木材表面が粗く吸収力が非常に高い場合は、ウッドクリームが表面に塗布しやすくなるようウッドクリームをウッドクリームソフナーで希釈することを推奨します。ウッドクリームの色合いを強くする場合は、2回目を塗布してください。詳細は、ウッドクリームのテクニカルデータシート（TDS）をご参照ください。

詳細はパッケージおよび安全データシートをご確認ください。

屋内用および屋外用木材の保護および着色用製品の全ラインナップにつきましては、www.rubimonocoatjapan.com に掲載している製品カタログをご覧ください。

免責事項： 選定された用途に本製品が適しているか否かについて、独自にテストを行い判定する責任はユーザーが有します。株式会社ニッシンイクスは、本製品の使用により生じた損害に対し一切の責任を負いかねます。また、本製品の品質とは関連のない原因による意に満たない結果に対し一切の責任を負いかねます。

技術データシート（TDS）発行日：2018/6/19

製品をお使いになる前に製品安全シート（SDS）をご確認ください。



Rubio[®] MONOCOAT

お問い合わせ先

株式会社ニッシンイクス
ルビオモノコート事業グループ

TEL : 0834-36-1700
FAX : 0834-36-1711

<https://www.nissin-ex.co.jp/rubimonocoat/>